

診療用放射性同位元素使用器具備付届

年 月 日

千葉県知事 様
(千葉県 保健所長 様)

所在地 〒

名称

電話 ()

管理者氏名

下記のとおり診療用放射性同位元素使用器具を備えるのでお届けします。

記

1 診療用放射性同位元素使用器具に装着する放射性使用性	種類		
	形状		
	年間使用予定数量	ベクレル	
	最大貯蔵予定数量	ベクレル	
	3月間最大使用予定数量	ベクレル	
	1日最大使用予定数量	ベクレル	
2 放射線診療に医師の氏名及び経歴	氏名	職種	放射線診療に関する経歴
3 予定使用開始時期		年 月 日	

診療用放射性同位元素使用器具使用室等の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

4	使用の場所		使用室・治療病室・その他（ ）				
	管 理 室		有 ・ 無				
	使用室等の区画	操 作 室	有 ・ 無				
		処 置 室	有 ・ 無				
		準 備 室	有 ・ 無				
		患者用・従事者用便所の区分	有 ・ 無				
		患 者 待 機 室	有 ・ 無				
		治 療 病 室	有 ・ 無				
	建 築 物 の 構 造		耐火構造・不燃材料・その他（ ）				
	遮へい物を設ける場所 措置事項		天 井	壁	床	出 入 口	開 口 部
	遮 へ い 物	構 造					
		材 料					
		厚 さ					
	汚る染場の所おのそ構れ造の措あ置	突 起 物 、 く ぼ み	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
		目 地 、 す き ま	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
		平滑施工をした表面仕上	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
		耐 腐 食 性 ・ 耐 浸 透 性	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
	フード、グローブボックス等		有（ ） ・ 無				
	排 気 施 設 へ の 連 結		有 ・ 無				
	準 備 室 に 設 け る 洗 浄 設 備		有 ・ 無				
排 水 施 設 へ の 連 結		有 ・ 無					
汚 染 検 査 に 必 要 な 測 定 器		有 ・ 無					
汚 染 除 去 用 機 材		有 ・ 無					
汚 染 除 去 洗 浄 設 備		有 ・ 無					
更 衣 設 備		有 ・ 無					
出 入 口 の 数		通常出入口	箇所・非常口			箇所	
標 識		有 ・ 無					

5 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	貯 蔵 方 法		貯蔵室 ・ 貯蔵箱	
	貯 蔵 室 又 は 貯 蔵 箱 の 場 所		別添図面のとおり	
	貯 蔵 施 設 の 構 造		鉄筋コンクリート・金庫 その他（ ）	
	貯 蔵 施 設 の 遮 へ い 材 料			
	貯蔵室の出入口の構造	出 入 口 の 数	通常出入口	箇所 ・ 非常口 箇所
		特定防火設備に該当する防火戸	有	・ 無
		閉 鎖 設 備	か ぎ	・ その他（ ）
	貯 蔵 箱 の 閉 鎖 設 備		か ぎ	・ その他（ ）
	貯蔵容器の構造及び汚染防止措置	遮 へ い 材 料		
		空 気 汚 染 防 止 措 置	有	・ 無
		液体のこぼれ防止措置	有	・ 無
		浸 透 防 止 措 置	有	・ 無
		受 皿 ・ 吸 収 材	有	・ 無
		貯蔵物の種類及び数量の表示	有	・ 無
		標 識	有	・ 無
	貯 蔵 室 の 標 識		有	・ 無
6 運搬設備の放射線障害の防止に関する概要	気 体 汚 染 発 生 防 止 措 置		有	・ 無
	液体のこぼれ・浸透防止措置		有	・ 無
	受 皿 ・ 吸 収 材		有	・ 無
	運搬物の種類及び数量の表示		有	・ 無
	標 識		有	・ 無

(裏)

7 廃棄施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	排水設備	構造、容量及び基数	地上式（六面体等）貯留槽 $m^3 \times$ 基	・その他（ $m^3 \times$ 基）
		排水監視施設	有	・ 無
		漏水、浸透、腐食防止措置	有	・ 無
		排液採取設備	有	・ 無
		標識	有	・ 無
	排気設備	排風機の能力及び基数	$m^3/時 \times$ 基	
		排気監視設備	有	・ 無
		漏水、浸透、腐食防止措置	有	・ 無
		自動ダンパー装置等	有	・ 無
		標識	有	・ 無
	保管廃棄設備	外部と区画された構造	有	・ 無
		閉鎖設備	有	・ 無
		耐火構造の措置	有	・ 無
		空気汚染防止措置	有	・ 無
		漏水、浸透、腐食防止措置	有	・ 無
		標識	有	・ 無
	8 診療用放射線同位元素使用器具使用室等□貯蔵施設及び 廃棄施設の放射線障害の防止に関する予防措置の概要	放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有
画壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト／週以下となる措置		有	・ 無	
管理区域		管理区域を設ける場所	別添図面のとおり	
		境界における実効線量が1.3ミリシーベルト／3月以下となる措置	有	・ 無
		空気中の放射性同位元素の濃度が別表に定める濃度限度の1／10以下となる措置	有	・ 無
		放射性同位元素によって汚染される物の表面密度が別表に定める表面密度の1／10以下となる措置	有	・ 無
		立入制限措置	扉	・ その他（ ）
		標識	有	・ 無
敷地の境界等		敷地内居住区域及び境界における実効線量が250マイクロシーベルト／3月以下となる措置	有	・ 無
		入院患者（診療により被ばくする放射線を除く）の実効線量が1.3ミリシーベルト／3月以下となる措置	有	・ 無
その他		取扱者被ばく防止用取扱器具	遮へい用器具、その他（ ）	
	取扱者被ばく測定器			

注意事項

- 1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した放射性同位元素使用器具使用施設（使用室、貯蔵施設、廃棄施設）の平面図及び側面図を添付すること。
- 2 使用室図、貯蔵施設図は各室ごとに線源の位置、線源から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離（メートル）並びに防護物の材料、厚さ及び表面の仕上材料を記入した50分の1又は100分の1の縮図とすること。
- 3 排水及び排気の系統を示す廃棄施設図を添付すること。
- 4 管理区域の標識等の位置を記入すること。
- 5 放射線診療に関する経歴欄には、医師又は歯科医師の免許登録番号及び年月日を記入すること。

